授業科目	＊キリスト教学Ⅱ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	1(2)	開講時期	後期
担当教員	東　彩子						
授業概要	キリスト教学Ⅱは、キリスト教学Ⅰで学んだ知識をもとに視野を広げていきます。聖書を土台とした芸術作品を鑑賞したり、文学作品を味わったりすることによって、聖書が自らの人生に語りかけるメッセージについて考えます。また、グループごとにキリスト教に関するテーマを自由に設定し、発表を行い視野を広げます。最後には２年間の集大成として「私と感恩奉仕」について考察します。						
授業形態	講義			授業方法	講義の他、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを行います。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	キリスト教の歴史の概要を学び、西洋の文学作品・芸術作品が、聖書を土台としていることを知ることができる。 １．キリスト教史を踏まえ、著名な西洋の文学作品・芸術作品鑑賞を、聖書の知識を土台として鑑賞することができる。 ２．キリスト教に関連するテーマについて興味を持ち、調査・発表を行うことができる。 ３．チャペルや教会訪問を重ねることを通し、キリスト教の価値観を養うことができる。
理想的レベル	キリスト教の歴史を踏まえ、西洋の文学作品・芸術作品を、聖書を土台として考察することができる。 また、積極的なチャペルやキリスト教行事への参加を通し、キリスト教の価値観を養い、 建学の精神「感恩奉仕」と私について考察できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	20%	教会訪問レポート、まとめのレポート
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	
レポート外の提出物	60%	クラスポートフォリオ、チャペルの感想
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	CH10102J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
予習：翌週に取り上げる聖書の箇所を読み、感想や質問事項を書き留める。 復習：授業・チャペルで取り上げられた聖書の箇所を再読し、感想を書き留める。	4

授業計画

第１回	キリスト教の歴史と教派 キリスト教の歴史を概観し、主要な教派を知るとともに、カルトについても解説する。
第２回	キリスト教と美術 聖画の鑑賞と作者の人生を考察する

第 3 回	キリスト教と音楽 キリスト教音楽の鑑賞と作者の人生を考察する
第 4 回	「ナルニア国物語」と C.S.ルイス C.S.ルイスの人生と「ナルニア国物語」の起源
第 5 回	「ナルニア国物語」と聖書① 『ライオンと魔女』映画鑑賞
第 6 回	「ナルニア国物語」と聖書② 『ライオンと魔女』解説
第 7 回	「ナルニア国物語」と聖書③ 『カスピアン王子のつのぶえ』映画鑑賞
第 8 回	「ナルニア国物語」と聖書④ 『カスピアン王子のつのぶえ』解説
第 9 回	「ナルニア国物語」と聖書⑤ 『朝びらき丸　東の海へ』映画鑑賞
第 10 回	「ナルニア国物語」と聖書⑥ 『朝びらき丸　東の海へ』解説
第 11 回	キリスト教に関するプレゼンテーション① グループ分け、テーマの設定と調べ学習
第 12 回	キリスト教に関するプレゼンテーション② グループごとに選んだテーマについての調べ学習
第 13 回	キリスト教に関するプレゼンテーション③ グループごとの調べ学習、プレゼンテーションのリハーサル
第 14 回	キリスト教に関するプレゼンテーション④ グループごとに、プレゼンテーションを行う。
第 15 回	全体のまとめ 建学の精神「感恩奉仕」と私について考える
テキスト	新共同訳聖書（日本聖書協会）
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	C.S.ルイス「ライオンと魔女」岩波書店(2000) C.S.ルイス「カスピアン王子のつのぶえ」岩波書店(2000) C.S.ルイス「朝びらき丸 東の海へ」岩波書店(2000)
課題に対するフィ	ポートフォリオは毎回回収し、翌週返却をする。 レポートは採点後に返却する。

ードバックの方法	
学生へのメッセージ・コメント	キリスト教学Ⅰを土台とし、チャペル、教会訪問などの学びをもとに展開していきます。 授業で取り上げる作品以外にも、キリスト教が背景に流れる芸術作品や文学作品を随時紹介いたします。 積極的にそれらに親しみ、自らの視野を広げて行ってください。